

## 石川県立ろう学校長

ひがし としひこ  
東 寿彦



石川県立ろう学校のホームページをご覧いただき、誠にありがとうございます。

本校は、明治41年、上森捨次郎氏の私立金沢盲聴学校開設に始まり、今年で117年目を迎えます。県内で唯一、聴覚に障害のある児童生徒のための特別支援学校で、幼稚部から高等部専攻科（3歳から20歳）まで学習できる学校です。

令和7年度4月は、幼稚部9名、小学部11名、中学部8名、高等部6名、専攻科0名の34名でスタートしました。

本校の教育目標は「すすんで学び、挑戦する、たくましく心豊かな人間の育成」です。

今年度は①教科指導の充実と専門性の継承、②共生社会の実現に向けたキャリア教育の推進、③健康で豊かな心が育つ安心・安全な学校づくり、④働きやすい学校づくり、  
の4点を重点目標に掲げ、取り組んで参ります。

本校では2001年（平成13年）度より、手話を共通のコミュニケーションとして取り入れ、児童生徒の自分の考え方や気持ちを伝える力、相手の気持ちや考え方を理解する力を育てています。

子供たち一人一人の聞こえの実態は大きく異なりますが、それぞれの子供が主体的・対話的で深い学びを通して、それぞれの持つ可能性を最大限に引き出せるよう、コミュニケーション手段を工夫し、ICT機器等も活用できる教師の専門性の維持向上に努めて参ります。

「きこえの相談支援センター」では、0歳児からの乳幼児相談、小中学生の通級指導教室、サテライト教室、補聴相談等を行うとともに、専門相談員派遣を実施しています。「難聴と診断された」「呼んでも振り向かない」「会話の行き違いがある」など聞こえに疑問や不安がある方は、どうぞ連絡をお願いします。

なお、今年は11月に東京2025デフリンピックが開催されることとなっています。本校でも、様々な学習の場面で理解を深めたり、応援の準備をしたり大会を盛り上げる取組を予定しています。

今後とも、本校の教育にご理解とご協力をお願い申し上げます。